

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	令和6年度～令和10年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（かみかわなんぶ） 上川南部森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 かみかわちゅうぶ 上川中部森林管理署 かみかわなんぶ 上川南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の中央部に位置する旭川市を含む2市8町1村（流域面積約565千ha）にまたがる、上川中部森林管理署及び上川南部森林管理署管内の国有林野約275千haを対象としている。</p> <p>本計画区内の約75%を森林が占め、そのうちの約65%が国有林となっている。国有林の森林の現況は、人工林が約51千ha、天然林が約189千haとなっており、人工林はトドマツ（74%）、エゾマツ（18%）を主な樹種とし、天然林はトドマツ、エゾマツ等の針葉樹とミズナラ、シナノキ、カンバ類等の広葉樹からなる針広混交林である。</p> <p>森林の蓄積量は145 m³/haで、高標高地が含まれていること等から北海道の平均154 m³/haよりも若干少なくなっている。人工林の齢級構成は10齢級をピークとする一山型であり、人工林面積のうち約63%が10齢級以上となっている。</p> <p>また、約275千haの国有林野のうち約94%が水源かん養保安林を主とした保安林に指定されており、道央地域の水源林としての機能のほか、基幹産業である農業の振興や、近年進められる観光事業に資する観点からも適切な森林整備が求められている。</p> <p>本計画区は大雪山系、夕張山地を中心として優れた山岳景観を有しており、大雪山国立公園、富良野芦別道立自然公園は、保健休養の場として国内外から多くの観光客が訪れ、観光資源としての特性も兼ね備えている。</p> <p>また、十勝岳をはじめとする道内有数の火山地帯でもあり、十勝岳周辺は火山泥流災害の危険地域、北部の層雲峡地区は土石流災害の危険地域となっており、山地災害防止機能の発揮が強く求められている。</p> <p>これらのことから、多面的機能の持続的発揮を図ることができる多様な森林づくりのほか、適切な間伐や主伐後の確実な更新、林地保全に配慮した森林づくりの実施など、森林整備の必要性は一層増している。</p> <p>さらに、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コストで効率的な作業システム、伐採と造林の一貫作業システム、低密度植栽、コンテナ苗植栽などによる造林及び保育の低コスト化の取組を推進することにより、本地域における林業の成長産業化の実現に向けて国有林の役割を継続的に果たすことが求められる。</p> <p>本事業ではこれまでの評価結果を踏まえ、以上のような地域の期待に応えるためにも、森林の有する公益的機能を持続的に発揮するために必要な森林整備を推進するとともに、これらの効率的な実施及び木材等生産機能の向上を図るための</p>		

	<p>路網整備を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>802ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>15,416ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>56.04km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.82km</td> </tr> </table> ・ 総事業費 8,941,688 千円（税抜き 8,128,807 千円） 	森林整備	更新面積	802ha		保育面積	15,416ha	路網整備	開設延長	56.04km		改良延長	0.82km
森林整備	更新面積	802ha											
	保育面積	15,416ha											
路網整備	開設延長	56.04km											
	改良延長	0.82km											
費用便益分析	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>総便益（B）</td> <td style="text-align: right;">41,980,873 千円</td> </tr> <tr> <td>総費用（C）</td> <td style="text-align: right;">10,429,625 千円</td> </tr> <tr> <td>分析結果（B/C）</td> <td style="text-align: right;">4.03</td> </tr> </table>	総便益（B）	41,980,873 千円	総費用（C）	10,429,625 千円	分析結果（B/C）	4.03						
総便益（B）	41,980,873 千円												
総費用（C）	10,429,625 千円												
分析結果（B/C）	4.03												
森林管理局事業評価技術検討会の意見	<p>事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業を実施することが妥当であるとする。</p>												
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 本地区の森林は、10 齢級以上の面積割合が約 63%を占め、森林資源の充実により本格的な利用期を迎えている。また、計画路線の一部は災害発生時に迂回路としての活用が見込まれている。そのため路網整備と保育を中心とする森林整備を進め、今後の木材産業の振興や山村振興に寄与することが期待されている。さらに、観光資源としての特性を持つ富良野芦別道立自然公園や大雪山国立公園での保健・レクリエーション機能、十勝岳火山地帯を含む土砂災害防止機能/土壌保全機能および基幹産業である農業の振興に資する水源涵養機能等の森林の有する多面的機能の発揮が求められている。以上により、本地区の森林環境保全整備事業の必要性が強く認められる。 ・ 効率性： 今後の森林施業を見据え、利用区域内における施業の優先度を勘案した路網整備が計画され、高性能林業機械を適切に組み合わせた作業システムの定着、伐採と造林の一貫作業などによる伐採再造林の経費縮減等が図られていることから、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 計画的で効率的な本事業の実施により、森林の有する多面的機能が持続的に発揮され、水源林の保全や地域の基幹産業である農業の振興、地球温暖化の防止等に寄与し引き続き効果の発現が見込まれることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効果的・効率的</p>												

に計画されていると認められる。

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：北海道

施行箇所：上川南部森林計画区(上川中部森林管理署、上川南部森林管理署)

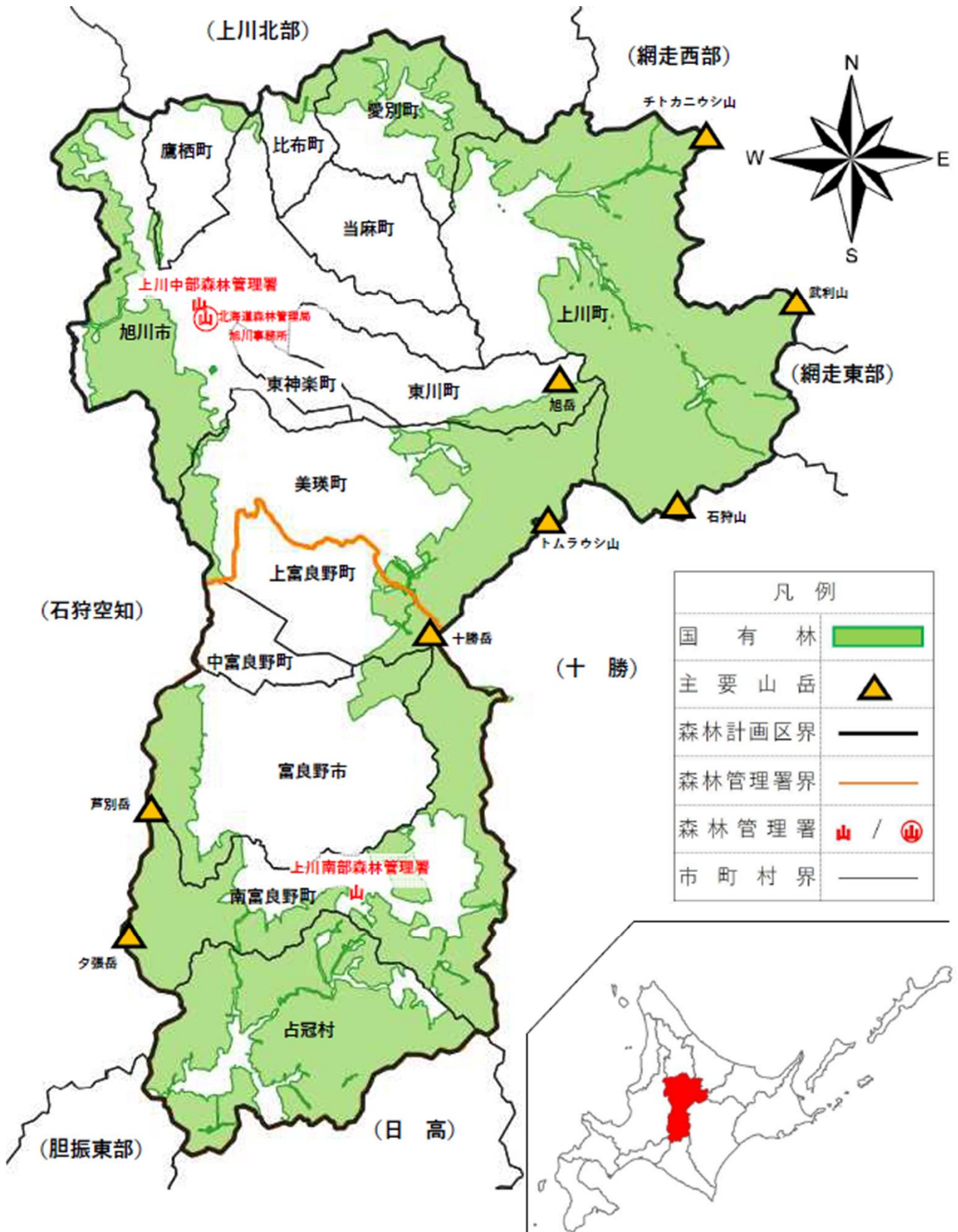
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	8,876,265	
	流域貯水便益	2,273,626	
	水質浄化便益	8,745,963	
山地保全便益	土砂流出防止便益	12,719,063	
環境保全便益	炭素固定便益	1,798,295	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	893,446	
	木材利用増進便益	1,022,535	
	木材生産確保・増進便益	2,583,334	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	118,784	
	森林整備促進便益	2,949,562	
総 便 益 (B)		41,980,873	
総 費 用 (C)		10,429,625	
費用便益比	$B \div C = \frac{41,980,873}{10,429,625} = 4.03$		

森林環境保全整備事業

上川南部森林計画区 事業概要図

(上川中部森林管理署、上川南部森林管理署)



凡例	
国有林	
主要山岳	
森林計画区界	
森林管理署界	
森林管理署	
市町村界	



森林整備

更新面積 802 ha
 保育面積 15,416 ha

路網整備

開設延長 56.04 km
 改良延長 0.82 km